

リニアは夢の乗り物か？

# ストップリニアニュース No.36

発行：2016. 11. 15 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagami-hara-g.mond.jp/>

## リニアのトンネル工事

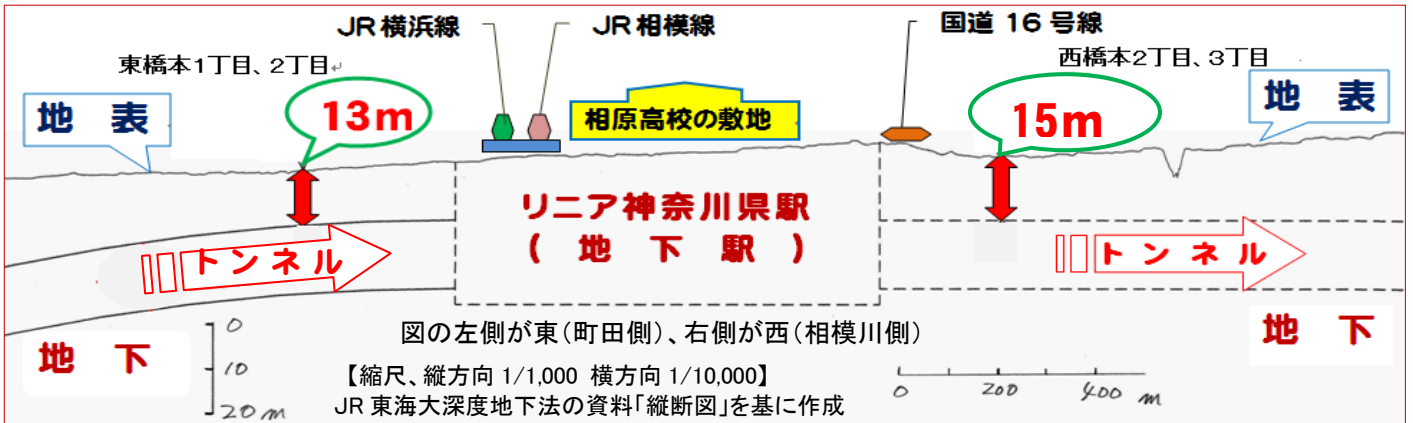
### とても心配！

## 地盤の沈下や傾き？

11/8に発生した博多道路陥没事故は、他人事ではありません。東京新聞夕刊(11/10)記事の道路陥没現場のイメージ図では土被り(どかぶり：地表からトンネル上部までの距離)が18m。相模原のリニアトンネル工事では、東京都町田市境～リニア神奈川県駅周辺～相模川方面への土被りは13m～30m未満と浅いところがあり、住宅などの下は、工事中を含む地盤の沈下や傾き・浸水等々の影響がとても心配されます。JR東海は地盤や地質を十分に時間をかけて調査すべきです。

### ★相模原、地下トンネルが浅い

「大深度法(地下40m以深)」の適用外(区分地上権が発生)



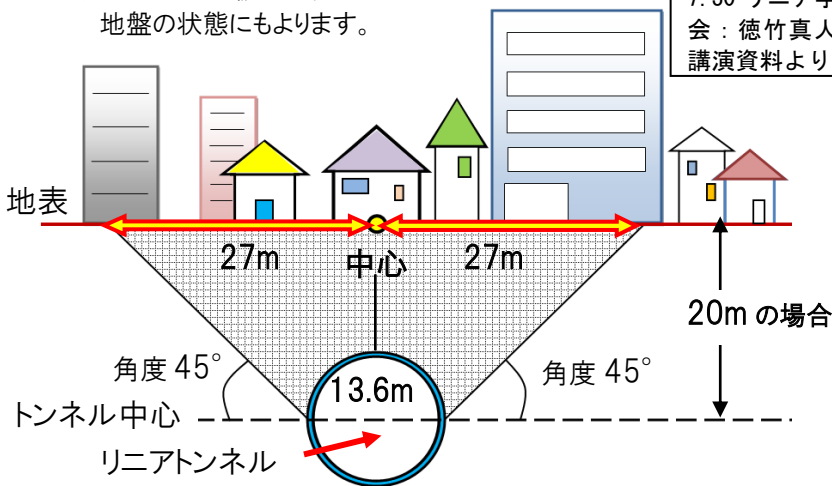
### リニアのトンネル工事

### トンネルの真上だけじゃない。

### 中心から27メートルまで影響の出る可能性あり！

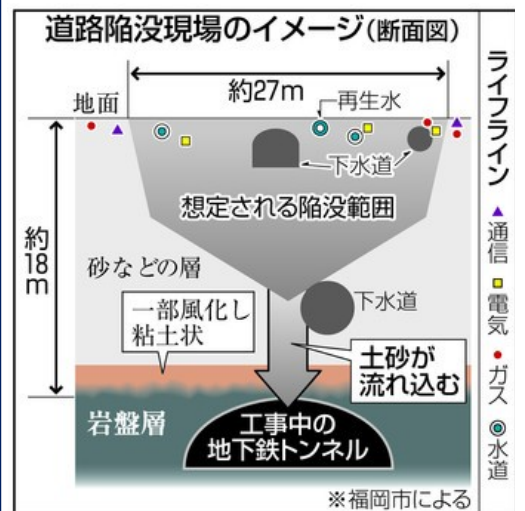
●トンネルの土被りの深さや地盤の状態にもよります。

7.30 リニア学習会：徳竹真人氏講演資料より



東京新聞夕刊(2016.11.10)

### 岩盤に想定外の軟弱部か 博多道路陥没



市は想定外のもろい部分に亀裂ができるなどして地下水がトンネル内に流れ込んだ可能性があるとして調査している。(記事抜粋)

### 「相模原は地盤が固い」はホント？



地下水が豊かなのだから、決して固くはありません。

# リニアに3兆円！ JR東海への公金支援を認める 衆院、参院ともに、わずか1日の審議で採決・可決

11/10、参議院国土交通委員会でJR東海への3兆円の財政投融資を可能にする「鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の改定案」について「集中審議」。自民、公明、民進、維新、無所属クラブ、日本のこころの賛成多数で、改定案は可決された。また、自・公・民・維4党の共同提案による「融資にあたってJR東海の経営の主体性を損なうことが無いよう配慮する」付帯決議も賛成多数で採択された。共産党の山添拓委員と希望の会(自由・社民)の青木愛子委員は、討論でリニア事業の見直し、経営支援の財投はすべきでないとの意見を述べ改定案と付帯決議に反対した。(衆議院国土交通委員会では10/26に自民、公明、民進、維新などの賛成多数で可決。反対は共産党の本村、清水の両議員のみ。)

## ●沿線住民の気持を訴えた川村原告団長の意見陳述が議員の心に響く

11/10 参議院・国土交通委員会 川村晃生参考人(慶応義塾大学名誉教授)



大きな問題は南アルプスの自然破壊だ。実験線でも地下水の流出・枯渇があちこちで起きている。286kmのリニアではそこら中で同じことが起きる。南アルプスは雨が多い。山が大量の水を貯え、それが地元の生活や生態系に恵みを与えている。工事によって地下水が流出・枯渇すれば被害は甚大だ。残土問題も深刻だ。75%の処分先が決まっていない。こうした問題があるのにアセスがずさんだ。山梨実験線では12カ所で調べただけで工事が行われ、地下水の流出・枯渇が起きた。この間の住民説明会でのJR東海の姿勢は傲慢だ。説明会は住民のために行うのに、質問は3問だけ、再質問は認めない、手が上がっているのに時間が来て一方的に閉会する。これは丁寧な説明をせよという国交省の指導に逆行するものである。こうして沿線住民の不満が渦巻き行政訴訟につながった。ただ推進だけの議論でいいのかと思う。初めにリニアありきでアセスや推進論が進められた。国会は行政機関の追認者ではない。国会は国会として議論を尽くし、その上で財政投融資の是非について判断していただきたい。

## ●リニアの闇を看破した橋山禮治郎氏の説得力ある意見陳述

10/26 衆議院・国土交通委員会 橋山禮治郎参考人(アラバマ大学名誉教授)



「初めにリニアありきで検討され、在来新幹線方式という別の選択肢が無かった」、「リニア新幹線が実現しても東京一極集中を加速させる上、人口減、とくに生産年齢人口の大幅な減少する中で、リニア自体の採算性が成り立たないので経済効果は見込めないと指摘。また事業評価はリニア単独で厳正に行うべきで、東海道新幹線とリニアの一体経営で黒字にするから認可するというのはまやかしかる」と述べ、「交通政策審議会の審議が行われ、在来新幹線の方が建設費や安全性、省エネ性、環境対策上優位なのに、高速性だけでリニアを認可すべきとした答申は誤りであった」と批判した。その上で橋山氏は「これだけ問題が多いリニア事業について現段階で一度推進を中断し、1年位をかけてじっくりと再検討すべきだ」と提案した。

★以上の記事は、衆院及び参院の「リニア審議」を傍聴された天野捷一共同代表の報告を参照し一部転記させて頂きました。

## 「ストップ・リニア！訴訟」日程と傍聴参加のおねがい

～日本を壊すリニア工事の認可取り消しを求める「ストップ・リニア！訴訟」～

第2回 2016年12月 9日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷

第3回 2017年 2月24日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷

第4回 2017年 4月28日(金)午後2時30分～東京地裁103号法廷

●東京地方裁判所の最寄駅は地下鉄丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」駅A1出口から徒歩1分。



★活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。  
郵便振替口座:00240-7-71305 口座名:リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者:代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 TEL:090-4378-9257